

第1部 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラムの策定

1 実行プログラム策定に当たっての背景

都立高校を取り巻く状況

急速に変化する社会構造

■ 社会生活のDXによる変化

・ AIやビッグデータ、IoT、ロボティクス技術等の先端技術が飛躍的に進化するなど社会生活が変化

■ グローバル化の加速

・ DXの進展に伴いグローバル化が加速する中、社会の変化に対応し、東京が持続的に発展していくためには、共生社会の実現や新たな時代を切り拓く人材の育成が重要

■ コロナ禍による影響

・ 様々な不安や悩みを抱える生徒など、多様な背景を持つ生徒の存在が一層顕在化

■ 質の高い教育の実現

・ 高い意欲と資質をもった教員の確保や働き方改革の推進など、学びを支える教員への支援が必要

国の動向

■ 中央教育審議会による答申

・ 子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

・ 生徒の学習意欲を喚起し、可能性・能力を最大限に伸長する教育活動への転換

・ 高校は、初等中等教育の最後の段階として在学中に主権者としての自覚を深めさせることが必要

■ 国による規定等の整備

・ 新しい時代の教育の実現に向け、高校に期待される社会的役割等の再定義や普通科の弾力化など、高校の特色化・魅力化を推進

東京都における施策等の動向

■ 「東京都教育施策大綱」の策定

・ 東京の目指す教育の実現に向け、「東京型教育モデル」を提示

■ 『『未来の東京』戦略 version up 2023』

・ 子供が自分らしく健やかに成長できる社会の実現
・ 将来を担う子供たちへの様々な支援を展開

■ 子供政策連携室との連携

・ 「こども未来アクション」による総合的な施策展開
・ 組織横断的な取組の推進（ヤングケアラー、ユースヘルスケア、日本語を母語としない子供など）

都立高校の現状

都立高校改革推進計画(平成24年度から令和3年度まで)

生徒を「真に社会人として自立した人間」に育成することを目的に、総合的に取組を推進

【主な取組】

- 大学等への進学指導の充実
- グローバル人材育成に向けた海外留学支援
- 専門高校の改善・充実
- チャレンジスクールの新設
- スクールカウンセラー等の配置による教育相談体制の整備

➡➡ 進学実績の向上や中途退学率の低下など、一定の成果

新たな課題

困難を抱えた生徒の存在

・ 不登校生徒や日本語指導が必要な生徒、ヤングケアラーといった様々な支援が必要な生徒が一層顕在化

都内公立中学生の進路状況と都立高校入学者選抜応募倍率

・ 広域通信制を含む通信制課程に進学する生徒の割合が増加するなど、進路が多様化
・ 入選倍率が低下傾向にあり、特に専門学科や夜間定時制で顕著

都立高校に対する都民や企業からの期待・要望

・ デジタルの活用やグローバル人材の育成、国際交流の機会拡大等

▶ 都立高校を取り巻く環境が変化中、新たな課題等の解決とともに、都立高校の魅力向上を図るための施策をプログラムとして体系化

2 実行プログラムの基本的な考え方

プログラムの性格等

都立高校の魅力向上に向け、新たな課題等に対応するための当面のプログラム

Point① 3つの施策の方向性に基づき集中的に施策を展開（令和4年度を含む令和6年度まで）

Point② 取組内容について毎年度ブラッシュアップするなど、状況の変化等に応じて柔軟に対応

3つの施策の方向性

生徒一人一人の能力を **伸ばす**

I 自ら未来を切り拓く力の育成

自ら課題を発見し解決する力や他者と協働し新たな価値を創造する力など、変化の激しい時代を生きる上で必要な資質・能力を育むため、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばす取組を推進

様々な困難を抱える生徒を **支える**

II 生徒目線に立った支援の充実

誰一人取り残さない教育の実現に向け、全ての生徒が家庭の状況等にかかわらず安心して教育を受けられるよう、学校や家庭、専門機関等が連携し、個々の生徒に応じた支援を充実

生徒や社会のニーズに応える **学校づくり**

III 質の高い教育を実現するための環境整備

中学生やその保護者に選ばれる都立高校を実現するため、民間企業等の多様な主体を活用し教育環境の充実を図るとともに、生徒や社会のニーズに応える特色ある学校づくりを推進

生徒一人一人に応じたきめ細かな教育を推進し、未来の東京を担う人材を育成

3 令和7年度以降に向けて

実行プログラムの検証

- 3つの施策の方向性において指標を定め、成果を検証しながら、施策を着実に推進

実行プログラム後の方向性

- 令和7年度以降の都立高校の在り方等については、生徒数の推移や来年度策定予定の「東京都教育ビジョン(第5次)」との整合性を図りつつ検討

第2部 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム

1 実行プログラムにおける施策の体系

■ 3つの方向性に基づき、30の施策を展開



I 自らの未来を切り拓く力の育成

TOKYOスマート・スクール・プロジェクトの推進

教育ダッシュボードの整備

各種データをリアルタイムに分析し可視化するダッシュボードの稼働を段階的に開始

TOKYOデジタルリーディングハイスクール事業の実施

AI教材やデジタル教科書等を活用した学びや、学習履歴等のデータ分析・利活用、先端技術の活用に関する実践的な研究を実施

教科「情報」の充実とデジタル人材の育成

情報活用能力を伸ばすための環境整備及びコンテスト等の実施【新規】

アプリケーション開発環境の整備やアプリケーション開発ワークショップ、プログラミングコンテストを実施するなど、デジタル人材の育成を推進

グローバル人材の育成

オンライン英会話の活用【拡充】

生徒がネイティブ講師とオンライン上で英会話のレッスンを行うための機会を拡充

JETプログラムによる外国人指導者の活用【拡充】

JETプログラムを活用した人材の配置拡充により、英語を用いたコミュニケーション機会の増加を図り、「使える英語力」の育成を推進

世界のSTEAM教育視察・体験【新規】

世界水準のSTEAM教育を直接体験することにより、生徒が理数・芸術分野の研究者を目指す意欲を醸成するとともに、教員の指導力を向上

探究的な学びの充実

探究アドバイザーの活用

大学院生等による探究アドバイザーを派遣し、一人一人に応じたよりきめ細かな指導を充実

進学指導体制の充実

進学指導推進校の学力向上支援【新規】

進学指導推進校において、希望する生徒を対象に民間事業者を活用した校内予備校を土日・放課後等に実施

理数教育の充実

理数探究プログラムの実施(SIP拠点校)【拡充】

理数に興味・関心のある生徒への講義や研究指導を実施するSIP(Scientific Inquiry Program)拠点校の指定を拡大

「得意な才能」を伸ばす教育

「得意な才能」を伸ばす教育【拡充】

理数分野に加え、R5年度から芸術分野の教育プログラムを構築し、秀でた才能を持つ生徒を支援

体力の向上

エンジョイスポーツプロジェクトの推進【拡充】

外部機関と連携し、健康的な生活習慣の実践を通して、豊かなスポーツライフに向けた都立高校生の資質・能力を向上

II 生徒目線に立った支援の充実

不登校生徒に対する支援・中途退学の未然防止・ヤングケアラー等に対する支援

都立学校「自立支援チーム」派遣事業【新規・拡充】

- ・福祉系YSW（主任）を増員し、「チーム学校」の観点から学校と一体化した取組を推進
- ・福祉保健局と連携し、都立学校関係者向けにヤングケアラー相談機能を充実
- ・YSWが常駐し、「校内居場所カフェ」の運営や生徒の「個別支援計画」を作成するなど、個に応じた支援を充実（R6年度以降）

学びのセーフティネット事業【一部新規】

- ・不登校の生徒や通信制課程に通う生徒に対し、NPO等の外部機関と連携して学習支援等を行う拠点を東部地区に新たに開設(R4年度)
- ・仮想空間上の学習環境(バーチャル・ラーニング・プラットフォーム)を活用し、不登校の生徒や中途退学者に対する支援を充実【新規】

校内別室指導推進事業【新規】

- ・校内に別室を設置し、支援員が学習指導や相談を実施するとともに、教室での授業を動画で配信するなど、別室であれば登校できる生徒等を支援

社会的・職業的自立支援教育プログラム事業【拡充】

- ・企業・NPOと連携した「社会的・職業的自立支援教育プログラム」の対象を普通科のみから総合学科にも拡大
- ・ヤングケアラーの支援に関わる団体によるプログラムを本事業に追加

日本語指導が必要な生徒に対する支援

多文化共生スクールサポートセンター事業【拡充】

- ・日本語指導が必要な生徒が在籍する学校全てを支援対象に拡大
- ・現在活用しているNPOに加えて、TEPROや大学、日本語学校等複数団体と連携した支援事業を実施

「特別の教育課程」編成・実施に向けた支援【新規】

日本語指導の「特別の教育課程」を編成する高校に対し、適切な指導が実施できるよう支援

都立高校における特別支援教育の充実

特別な支援を必要とする生徒への就労支援【新規】

発達障害等の困難を抱える生徒に対し、民間企業やNPO等を活用して就労を支援

ユースヘルスケアの推進

生涯の健康に関する相談体制等の整備【拡充】

学校医（産婦人科医）によるヘルスケアの専門相談を行う学校を拡大

Ⅲ 質の高い教育を実現するための環境整備

学校の魅力発信

学校PRの強化【拡充】

SNSによる情報発信や、民間事業者を活用した学校紹介動画の制作などの総合的な取組により、量と質の面から学校のPRを強化

普通科の活性化

普通科高校におけるスキルアップ促進【新規】

スキルアップ推進校において、民間教育機関等と連携し、基礎的なデジタルスキルや使える英語力、コミュニケーションスキル等を習得するための支援を実施

普通科高校における新たな学科の設置の検討【新規】

都立高校を取り巻く状況の変化等に対応し、「学際領域に関する学科」や「地域社会に関する学科」の設置を検討

定時制課程の改善・充実

チャレンジスクール及び昼夜間定時制高校の受入規模拡大

不登校生徒の増加や多様化する生徒のニーズに応じていくため、チャレンジスクール及び昼夜間定時制高校の受入規模を拡大

夜間定時制高校の必要な見直し・教育内容等の充実

入学者数の動向などニーズを踏まえた上で必要な見直しを行うとともに、多様な生徒の実態にきめ細かく対応した教育内容等の充実を図るなど、望ましい学習・教育環境を確保

専門学科の活性化

農業高校の活性化

東京農工大学と連携し、大学教員等による講演会や課題研究に対する指導・助言、スマート農業等の体験などを実施

工科高校の活性化 ※令和5年4月から工業高校は「工科高校」に名称変更

学科改編やTokyo P-TECHの導入など各施策を推進

商業高校の活性化【新規】

民間事業者等によるビジネススキル習得のための講座(デジタル・会計・英語)や民間企業への職場体験を実施

理数に関する学科の設置

科学技術高校の一部を改編し、理数に関する学科を区部に設置(R6年度)

教員確保策の更なる充実

選考内容・方法等の改善【新規・拡充】

大学3年生での採用選考の一部前倒しや、途中退職した東京都公立学校教員経験者が復帰する際の一部試験の免除など、多様な層が受験しやすい仕組みについて検討・実施

働き方改革の推進

職員室の環境改善【新規】

都立学校に機能的で働きやすい職員室を整備し、教員同士のコミュニケーションを円滑化